

## フェイクニュース

「ねえ、ロロミ。これを見てー」

仲良しのアキが、災害の影響でA町の動物園からライオンが逃げ出したというニュース動画を驚いた様子で見せてきた。

「え、「これ何？」

「これって、まずいよね。大丈夫かな。」

続けて、アキは、

「「うきんヨウウロも」の動画の話をしていたよー。これ、もつたくさんの人に早く知らせてあげないといけないよねー」  
と聞いた。

他の友達のSNSを見てみると、同じように「この動画の」話が話題になっている。「この動画を見て、本当の出来事かもしれないから早く知らせてあげたい」と思い、ほとんどその動画をSNSに投稿しているようだ。中には、『#危ない #拡散よろしく』と書いてあるものもあった。アキはわたしに、

「これを投稿したら、投稿を見た誰かを助けられるかもしれないよね。」  
と聞いてきた。

「ねえ、アキ。これ、本当なのかな。」

「こんなにくさんの人が投稿しているんだから本当でしょ。大丈夫だよ。」

たしかに、アキの言うとおり、動画には、動物園から出ていくライオンの様子がしっかりと映っているし、ライオンを見かけたという人のインタビューもあった。

本当かどうかわからない。自分が確かめたわけでもない。みんなの投稿を見ただけだ……。仲良しのアキが人を助けるために投稿しようと言っている。でも、アキがしつこくして「ねえ、心の中がモヤッとした」。

次の日の授業で、先生が昔のあるニュースのことを話してくれた。それは「11月の投稿がきっかけで、日本でタイムレットペーパーの買い占めが起き、多くの人がタイムレットペーパーを買えなくなってしまう」という内容だった。それを聞き、リョウは、  
「こんなのもそだと思っ。おもしろがつて誰かが作ったんだろっ。っ。」

と聞いた。他のクラスメイトも、

「たくさんの人が信じたことだから本当の」じゃないか。」

「たしかに。人を助けようと思っ。た。じゃないかな。」

「買えなくなる前に買った人もいたから、伝えてみかった」っだと思っ。な。」  
と口々に話が出た。

「いろいろな意見が飛び交った後、先生が話し始めた。

「『フェイクニュース』という言葉を聞いたことがあるかな。正しいとはいえないニュースのことだ。悪意をもってつくられたうそのニュースも、はつきりしない情報ももつたフェイクニュースもある。中にはいいと思っ。て広まったフェイクニュースだってある。」の。大騒動の裏側には、正しいとはいえないニュースを投稿した人、そのニュースを信じて広めた人、タイムレットペーパーを買い占めた人たちがいた。そして、それが原因で困った人もいた。わたしたちはさまざまにニュースや情報とどう向き合っ。ていっ。けるの。だ。ね。」

みんなはしつこく聞いていた。わたしはアキとの会話を改めて思い出していた。心の中のモヤモヤがさらに大きくなってきた。

後日、動物園からライオンが逃げ出したというフェイクニュースが一部で広まっていたという報道があった。